

## プログラム名

---

東京慈恵会医科大学臨床検査専門研修プログラム

## 募集定員

---

3名

## 研修期間

---

3年

## プログラムの特徴

---

本プログラムは、初期研修を終えた専攻医を対象とした研修プログラム制と、既に内科専門医等を取得し臨床検査専門医をめざす研修カリキュラム制の2つのコースを定めています。専攻医になるには、日本臨床検査医学会の会員であることが必要です。共通項目として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学、臨床研究支援学の基本7科目の研修を行います。また、専攻医の希望によって、コンパニオン診断研修、感染症管理研修、検査部管理研修、臨床研究支援・指導研修などを選択できます。基幹施設である東京慈恵会医科大学附属病院(港区西新橋)で、多くの研修を行います。附属葛飾医療センター(葛飾区青戸)、附属第三病院(狛江市)、附属柏病院(千葉県柏市)が連携施設となっており、各施設の特徴を生かした研修を行うことにより、深みのある研修となるように工夫しています。

各コースの修了が認定されたら専門医認定試験の受験資格が与えられます。この試験に合格すると、臨床検査専門医となります。臨床検査専門医には、さらに経験を積み大規模中規模施設の臨床検査部門を管理医として管理・運営すること、指導医となって現在は数少ない臨床検査専門医を育成すること、教育研究機関において臨床検査医学の教員として教育研究を担うことが期待されます。